Good Neighbors Japan

Good Change for the World

グッドネーバーズ・ジャパン 年次報告書

2021

2021.1 - 2021.12

ごあいさつ

日頃より私どもグッドネーバーズ・ジャパンにご支援・ご協力くださっている皆様にあらためて感謝を申し上げます。今年も、昨年度の活動をまとめた「年次報告書」を皆様にお届けいたします。

2021年グッドネーバーズ・ジャパンは、首都圏と近畿圏に2か所だった国内ひとり親家庭のフードバンク「グッドごはん」の配付拠点を17か所に拡大し、利用者の利便性を高めました。しかし当団体の調査では、2021年の世帯年収200万円未満の家庭が約54%に上り、2019年前回調査の47%より増加していることが分かりました。新型コロナの影響による貧困世帯の拡大が現実の数字として表れていると見て、更なる支援の拡大が急務と考えております。

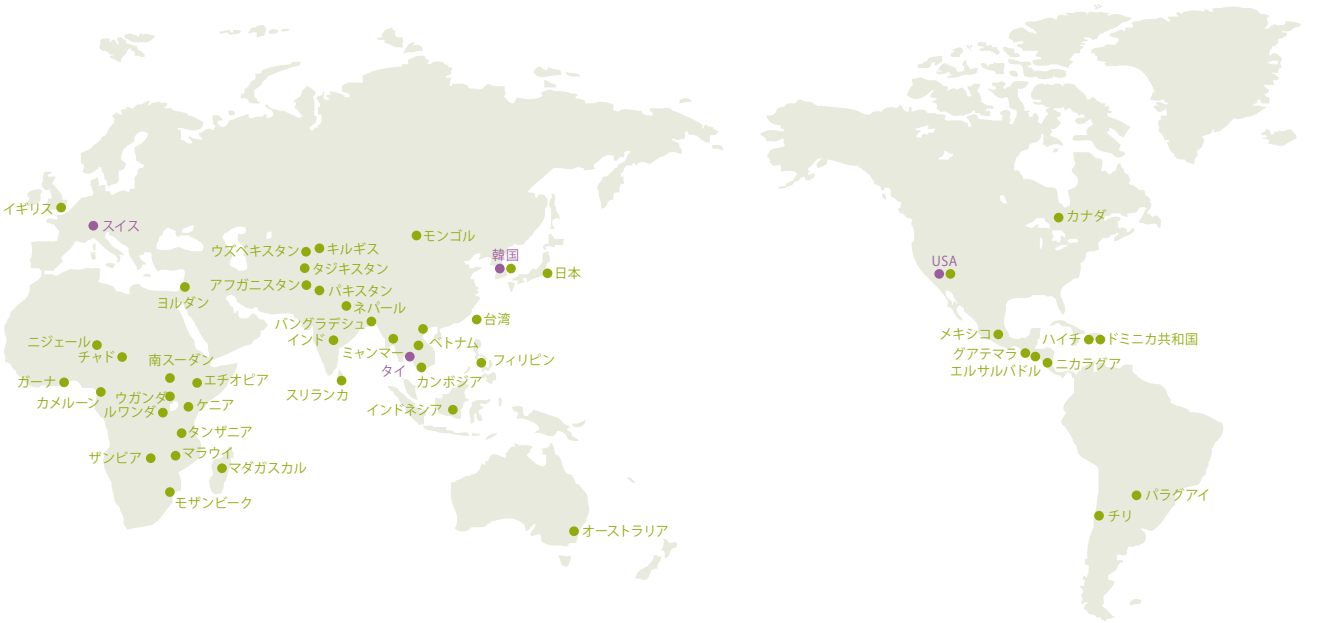
海外では開発支援と緊急支援の両分野でグッドネーバーズ・ジャパンによる直接事業を拡大しました。ネパールでは31の小中学校を対象とした水衛生環境整備事業を開始し、モザンビークやエチオピアにおいても国内避難民の支援を実施しています。また、昨今のロシアによるウクライナ侵攻を受け、ルーマニアからウクライナ国内への食糧と医療の緊急支援を開始する事になりました。ルーマニアに派遣したスタッフは、難民の方からこのような言葉を聞きました。「これからどこに行って何をすればいいのか、まったくわかりません。でも逃げることができた私たちよりも、ウクライナに残された人々をどうか助けてあげてください」。すべての災害や紛争から影響を受ける人々は尊厳ある生活を営み、そのための保護と支援を受ける権利があります。私たちは、このウクライナ危機の対応には長い時間が必要と考え、長期的な復興支援を計画しています。
今世界は、新型コロナウイルスのパンデミックの収束もないまま、戦争に伴う経済的影響という二重の危機に直面しています。食料や原油価格の急騰により日本を含む多くの国で成長率が下がり、インフレ率が上がっています。それは世界中、またそれぞれの国の中で、最も脆弱な人々にとりわけ苦難をもたらします。
多くの課題を抱え重大な局面を迎える国際社会で、子ども達に希望のある未来をつなぐことができるか否かは、私たちがどのような行動をとるかにかかっています。
グッドネーバーズ・ジャパンは、日本国内に約2万人いる子どもスポンサーの皆様や応援してくださる企業、法人、ボランティア、その他多くのステークホルダーの皆様と共に行動してまいりたいと思います。

福井 玲

グッドネーバーズ・ジャパン代表理事
東京大学教授

活動地域

● 事業実施国　● グローバルオフィス



活動分野

支援する
子どもと家族

- 教育・子どもの保護
- 水・衛生
- 医療・保健
- 収入向上
- 地域パートナーシップ＆ネットワーク構築
- アドボカシー
- 緊急支援
- ボランティア

2021年の成果

海外

子どもスポンサーシップを通して、
世界中で21万人以上の子どもたちを支援しています。

地域開発プロジェクト

教育支援
1,362,831人

保健医療支援
2,045,793人

水・衛生支援
775,070人

収入向上支援
82,138人

アドボカシー
254,376人

緊急支援
741,453人

国内

延べ支援世帯数（グッドごはん）
11,872世帯

支援した子ども
21,092人

海外事業

教育

グッドネーバーズは、貧困・児童労働・差別など、困難な環境に置かれた子どもたちに教育の機会を提供し、教育を通じて貧困のスパイラルから脱し、未来への希望を持つことができるように支援します。

通学する子ども達（ザンビア）

ベトナム

カウンセリングでより良い学校生活を！

グッドネーバーズは、ベトナムのハノイにある2カ所の中等教育課程校でカウンセリングルームの建設や機材の支援をし、勉強や友人関係などに悩みを抱えている1,109人の生徒を対象に、専門家によるカウンセリングを提供しました。自己肯定感の向上や感情のコントロールをテーマとしたプログラムを受けた生徒のうち85％が「自己肯定感が向上し、気持ちの問題の解決につながった」と答えました。
同時に、58人の教師を対象とした心理カウンセリング能力強化研修、保護者向けの子育て教育、生徒向けの相談ホットラインの開設なども行いました。

研修の様子

カウンセリングによって自己肯定感が向上した！

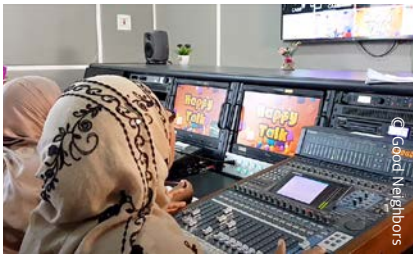
85%

またこのプログラムを受けたい！

98.5%

タンザニア

オンライン授業で学習を止めない

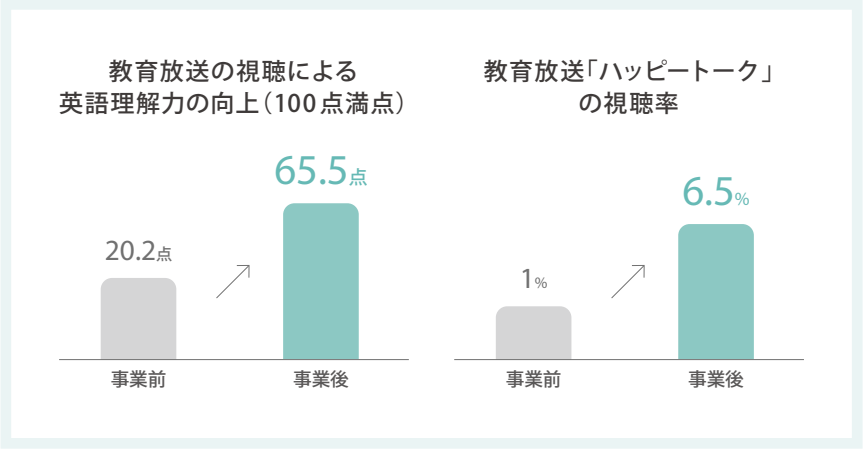


教育コンテンツの配信で
教育格差問題に立ち向かう

新型コロナウイルスで子どもが教育をきちんと受けられるか心配でしたが、オンラインの教育コンテンツで子どもが学習を継続できるようになって本当によかったです。

パトマアメディ・ユスフ、
ハッピートークを視聴している生徒の母親

タンザニアのザンジバル島では、経済的な理由や教育インフラの不足から、中等教育課程に進学する生徒は全体のわずか33%ですが、新型コロナウイルスによる休校で学習がさらに困難になりました。
そのような状況下、グッドネーバーズが2017年に建設したカララメディア教育センターはザンジバル政府から教育放送・中継の拠点として選定され、オンライン授業コンテンツ「ハッピートーク」や新型コロナウイルスに関する教育コンテンツ約110本を制作・配信しました。これにより、10,607人の生徒たちが毎日自宅のテレビで、質の高い教育放送を視聴できるようになりました。



グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート①

2016

身長：163cm
体重：42kg

2021

190cm
60kg

ハッサナくん　19歳　チャド

ハッサナくんはチャドのファシャアテレ地域で両親、兄弟1人と一緒に暮らしています。今19歳で、ヨナスクール中等学校の5年生（日本の高校1年生）です。家はファシャアテレ近くのアドレ村で農業をして収入を得ています。
一番好きな教科は美術で、趣味は水汲みです。将来の夢は医者になることです。
グッドネーバーズはチャドにおいて、ハッサナくんの通っているヨナスクールの運営の他、大人を対象とした識字教育プログラムや収入向上プログラム、ヘルスセンターの運営などを行っています。

※チャドの教育制度　初等教育（5年制）、中等教育（7年制）

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート②

2013

身長：121cm
体重：22kg

2020

157cm
51kg

サティヤちゃん　16歳　インド

サティアちゃんはインドのチクジャラ地域で両親、姉妹1人と一緒に暮らしています。今16歳で、中等教育課程校の9年生（日本の中学3年生）です。一番好きな教科は美術で、好きな動物は象、好きな色は黄色です。将来の夢は先生になることです。
グッドネーバーズは、インドの子どもたちが家庭の経済状況や住む地域に関わらず平等に教育を受けられるよう、教育や給食を提供するデイケアセンターの運営など子どもに焦点をおいた地域開発支援を行なっています。

※インド・チクジャラの教育制度　初等教育（4年）、中等教育（6年）、高等教育（2～5年）

※グッドネーバーズの支援は子どもが18歳になるまで続けられますが、18歳を過ぎても中等教育に在籍している場合等、支援の継続が必要な場合もあります。

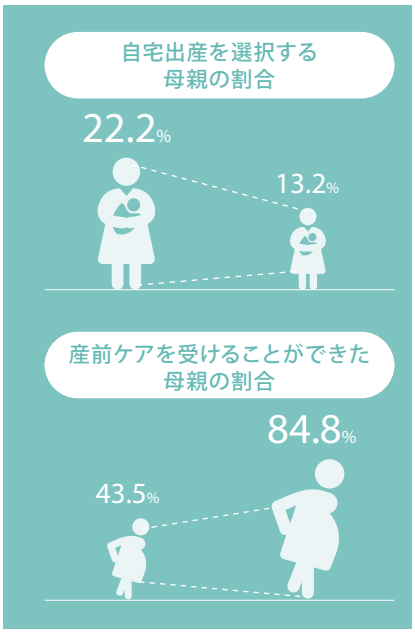
医療・保健

グッドネーバーズは、子どもや地域住民に対し、専門的な保健医療施設や医療人材、物品を支援することで、大切な命を守ります。また、地域住民の中から保健員を育成し、地域住民自ら健康な地域づくりを推進します。

熱帯病の治療薬を投与（カメルーン）

バングラデシュ

質の高い母子保健サービスの提供



バングラデシュのボチャガンジ地域では、設備の整った医療施設が少なく、また医療費が高額であるために、多くの妊産婦たちが自宅出産を選択しています。そのため適切な産前・産後ケアを受けられず、最悪の場合、母子ともに命を落とすこともあります。グッドネーバーズは、地域の保健所の中に、専門機器を備えた出産センター 2棟を建設し、地域の保健員154名と医療従事者6名に人材育成研修を行いました。その結果、保健所の妊婦健診利用率は16.9%から81.2%に上昇し、計195件の出産が安全に行われました。その結果、子どもたちの健康な成長の基盤が築かれました。

出産センターで健診を受ける女性

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート③

2019

身長：129cm
体重：34kg

2021

133cm
37kg

ハセットちゃん　9歳　エチオピア

ハセットちゃんは、エチオピアの首都アディスアベバのリデタというスラム地域で、母親と兄と一緒に暮らしています。今9歳で、小学校3年生です。両親は離婚し、母親が日雇い労働をして稼ぐ収入で生計を立てています。学校で一番好きな教科は外国語で、将来の夢は医者になることです。
グッドネーバーズは、エチオピアの子どもたちに学費や学用品の支援を行うほか、教育へのアクセスを妨げる貧困の問題を解決するため、収入向上支援にも力を入れています。その結果、地域住民はマイクロクレジットや工芸品製作により貯蓄ができるようになり、支援世帯の生活が改善しました。

※エチオピアの教育制度　初等教育（8年制）、中等教育（4年制）

水・衛生

グッドネーバーズは、世界中のすべての子どもたちが安全な水にアクセスできるよう、水衛生環境の整備、住民からなる水衛生委員会の組織支援などを行い、人々を不衛生な水が引き起こす病気から守ります。

綺麗な水を飲む少女（モザンビーク）

ネパール

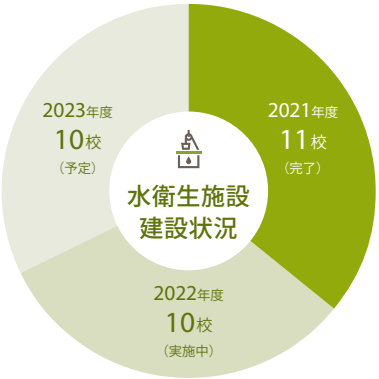
11の小中学校に給水設備とトイレを建設

学校に建設した給水設備から水を飲む地域住民

衛生に関する啓発プログラムや生徒への衛生備品の配布、それに関わるワークショップを通じて、生徒たちは自分自身だけでなく地域や家庭の衛生状況にも関心を持ち、自ら行動するようになりました。

ダマル・ビカ　サルワダヤ学校の先生

ネパールの山岳地帯では、交通アクセスが悪いことなどを背景に、水や衛生に関する開発が十分に進んでいません。グッドネーバーズ・ジャパンは、ネパールのカルナリ・プラデーシュ州ムグ郡において、31校の小中学校の水衛生環境を整備する事業を行っています。2021年度はそのうち11校において、飲料水供給設備・男女別バリアフリートイレ・ごみ処分設備を建設しました。また、全対象校とその周辺地域において、手洗いや歯磨きといった体を清潔に保つ衛生知識を伝える講座やイベントを実施しました。これにより子どもたちは、衛生的な学校生活を送ることができるようになりました。



この事業は、3年間で対象校31校の水衛生環境の整備を計画しています。第1年次では11校での水衛生施設の建設と全対象校での衛生啓発活動が完了しました。続く第2年次・第3年次ではそれぞれ10校ずつ建設を進めていく予定です。

※この事業は外務省「日本NGO連携無償資金協力事業」です。

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート④

2013

身長：125cm
体重：22kg

2020

158cm
44kg

ムクリスくん　19歳　インドネシア

ムクリスくんはスマトラ島北部のムラボ地域で父親、姉妹1人と一緒に暮らしています。今19歳で、中等教育課程校の10年生（日本の高校1年生）です。母親は既に他界しています。一番好きな教科は国語、好きな動物はニワトリ、好きな色は黄色です。放課後はサッカーをして過ごしています。将来の夢は警察官になって悪い人から村を守ることです。

2004年のスマトラ島沖地震の際、ムクリスくんの住むムラボを津波が襲いました。その緊急支援活動をきっかけに、グッドネーバーズはインドネシアで貧困に苦しむ子どもたちが自立し、希望を持って生きることができるよう支援しています。

※インドネシアの教育制度　初等教育（6年制）、中等教育（3年制）、高等教育（3年制）

収入向上支援

グッドネーバーズは、地域に根ざした協同組合を組織し、住民の経済的自立をかなえる足場作りを推進しています。また多様な教育・専門技術支援で住民の能力を強化し、社会的企業※の運営により、持続可能な発展を目指しています。

※社会的企業（ソーシャルエンタープライズ）：営利の追求だけではなく社会的な問題解決を目指す企業のこと

トマトを収穫する技術研修の参加者（ネパール）

ケニア

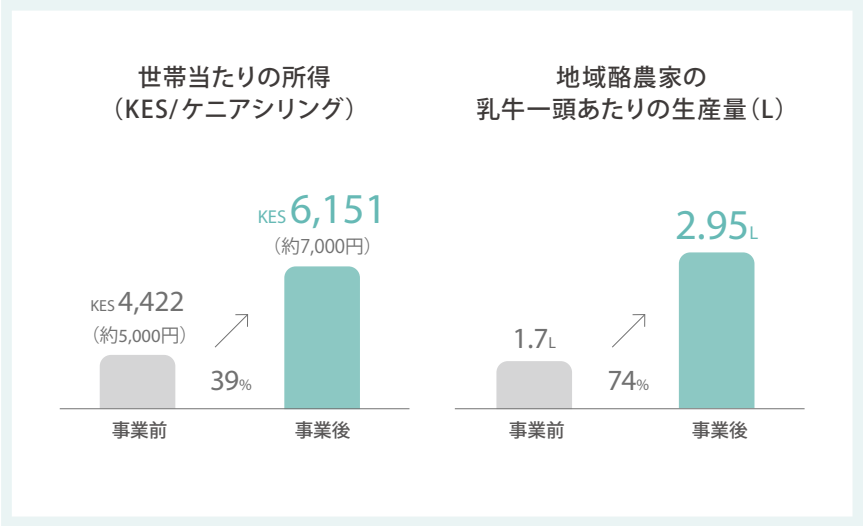
酪農技術を学んで、モーっと収入アップ

酪農はケニアで2番目に大きい産業です。しかし近年、地球温暖化による干ばつで水・牧草・飼料が不足している上、原油市場の独占などもあり、ケニアの酪農家の生活はますます厳しくなっています。
グッドネーバーズは酪農家を対象に、安価な飼料と水の安定供給、家畜の品種改良、家畜の疫病の予防と治療などの技術研修事業を行いました。その結果、地域の生乳生産量は全体で74%、支援を受けた酪農家の世帯所得は39%増加しました。

酪農技術研修の参加者たち

干し草の管理は非常に重要ですが、私には収穫した干し草を保存する技術がありませんでした。グッドネーバーズの研修を通して、干し草の管理と収穫、貯蔵の技術を学び、干ばつ時にも安定して牛乳を生産できるようになりました！

シャドラック・シパラ
研修に参加した酪農家



グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート⑤

2016

身長：90cm
体重：13kg

2021

98cm
16kg

リークスメイちゃん　6歳　カンボジア

リークスメイちゃんはカンボジア北西部のオーチュローブで暮らしています。両親は以前はタイに出稼ぎに行っていましたが、今は一緒に暮らしています。今6歳で、幼稚（保育）園に通っており、趣味はおままごとで将来の夢は先生になることです。
グッドネーバーズは、カンボジアの子どもたちの未来のために、教育や水・衛生、収入向上支援をはじめとした様々な分野で活動を展開しています。

※カンボジアの教育制度　就学前教育（3年制）、初等教育（6年制）、中等教育（3年制）

アドボカシー

© Good Neighbors

子どもたちが自身の権利について知り、守ることができるように、多様なアドボカシー活動※を行います。自治体や政府に政策改善を提案し、人々の権利が守られる社会をつくる取り組みを先導しています。

※アドボカシー活動：社会課題を解決するための政策提言や、キャンペーン等を通して知識を深め、行動に結びつけるための活動

女の子の権利について訴える子どもたち（ウガンダ）

マラウイ

人形劇や絵、歌を通して権利の大切さを学びました

グッドネーバーズでは、各国の権利侵害に対して若者が声をあげ、問題解決のために行動する「グローバルユースネットワーク」プロジェクトを実施しています。マラウイでは子どもたちが、権利とは何か、子どもの権利とはどんなものかについて学びました。また、権利が守られていない状況について話し合い、権利が守られている世界の姿を絵で表現したりしました。人形劇や歌で子どもの権利を表現して、同年代の友達に権利の大切さを分かりやすく伝える取り組みも行いました。その結果、権利について学んだマラウイの子どもたちは、権利に対する認知度や実践への関心が非常に高くなりました。

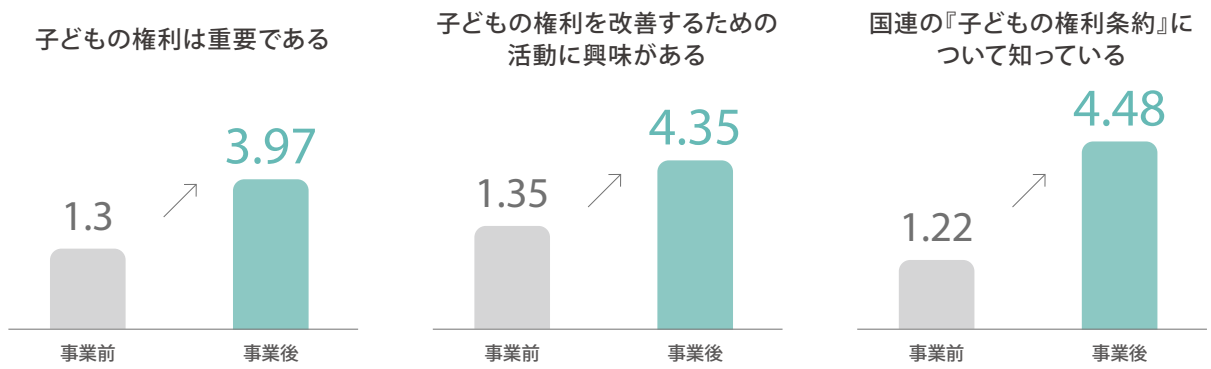
グローバルユースネットワークで出会った外国の友人たちと一緒に、自分たちの権利を守るためには、みんなで力を合わせる必要があるということを学びました。私たちは、それぞれの場所で権利保護の活動に関わり続けることを約束しました。

ワイマ・カンザナ　マラウイの学生

© Good Neighbors

プロジェクトの一環としてSDGsについて学ぶマラウイの子どもたち

プロジェクトに参加したマラウイの子どもたちへのアンケート結果（5段階中）



国内事業

グッドごはん

※イメージ

2021年の成果

2021年の
延べ支援世帯数
11,872世帯

支援した子どもの
延べ人数
21,092人

子どもに未来への目標や希望までくれました

2021年は長引く新型コロナウイルス感染症拡大が多くのひとり親家庭に深刻な影響を与え、この1年で新たに国内ひとり親家庭のフードバンク「グッドごはん」に利用登録をした家庭は1,720世帯と、2020年の945世帯のおよそ2倍となりました。

配送のためのクラウドファンディング

5月、緊急事態宣言の延長により、食品の提供方法を配送へと切り替えた際に、配送費用を集めるためクラウドファンディングを実施しました。その結果、1,000世帯への配送費用でもある目標金額の100万円を大きく上回る約230万円を集めることができ、5月の配送費と6月の活動費用に充てさせていただきました。

配付拠点の拡大

これまでは倉庫や事務所のある3ヶ所を拠点に食品を配付していましたが、利用者の増加に伴い、配付拠点が遠いことや感染症リスクのため電車で行けないという声が多く寄せられました。そこで、首都圏と大阪のグッドごはんの拠点を拡大し、2021年12月時点で首都圏8カ所と近畿圏9カ所（現在も拡大中）で受け取りが可能になりました。

寄付方法の多様化

他にも、2021年には、ファッションチャリティオークションやコーヒー、著書の売り上げの一部やふるさと納税の返礼品など、多様な方法で多くの方々からのご寄付が寄せられました。皆様のあたたかいご支援を一人でも多くの子どもたちに届けられるよう、今後も活動を続けてまいります。

子供にはこんな世の中だけど、とても優しい人がいるんだよと話すと、自分も早く大人になって、私や困ってる子供を助けたいと言い、以前よりも手伝いや勉強を進んで行うようになりました。
食事の事だけではなく、子供に人としての在り方や未来への目標や希望まで与えて下さり感謝しきれません。本当にいつもサポートして頂きありがとうございます。

グッドごはん利用者より

ひとり親家庭に、ごはんと勇気を。#BeAHERO プロジェクト

4月から5月にかけて、俳優の水石亜飛夢さんと一緒に、夏休みに生鮮食品の配付を行うためのクラウドファンディング「#BeAHERO プロジェクト」に挑戦しました。
その結果、延べ936名の方々より1,000万円近い支援金が集まり、給食のない夏休みに東京・大阪合わせて962世帯、1,792人の子どもたちにお肉や野菜、果物、魚などの生鮮食品を届けることができました。
対面配付には水石亜飛夢さんも参加し、一緒に食品を配ってくださいました。

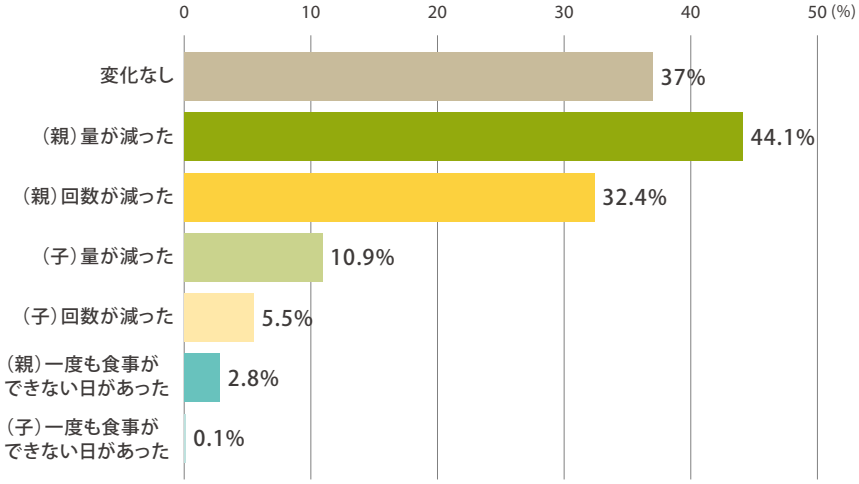
グッドネーバーズ・ジャパンでは、今回のプロジェクトで初めて大規模な生鮮食品の調達・提供を行い、改めて新鮮なお肉や野菜の需要と、これらがもたらす温かい食卓や家族の時間の大切さを確認しました。そして通常の配付でも少しずつ野菜等の配付を始めるきっかけとなりました。

アンケートから見えてきた利用者の生活

グッドネーバーズ・ジャパンは、ひとり親家庭の実情を把握するため、グッドごはん利用者を対象にアンケート調査を実施しています。2021年には、新型コロナウイルス第三波と緊急事態宣言の影響、住宅事情、新型コロナウイルスの収入や食への影響、養育費受け取りの実情などに関する調査を行いました。

食費に関する調査では、グッドごはん利用世帯の約50%は1日に換算すると1,000円以下の食費で暮らしていることが分かりました。さらに約60%がコロナ禍前より「収入が減った」と回答しており、半数近くの44%の親が「自身の食事の量が減った」と回答しています。中には「一度も食事できない日があった」という回答も見られました。
養育費の受け取りに関する調査では、養育費を「毎月受け取っている」と回答した方は首都圏19%、近畿圏13%に留まりました。状況を改善できない理由としては、「これ以上言うと命の危険があるので言えない」など、働きかけてもなかなか解決せず泣き寝入りせざるを得ない現状が浮かび上がりました。

新型コロナウイルスの影響が出始める前と比べて、現在のご家族の食事の量・回数に影響が出ていますか？（複数回答可） n=1107



新型コロナウイルスの感染拡大による生活への影響に関するアンケート　2021年10月~11月実施

メディア掲載実績

1日2食「休日は子も」
コロナ長期化 ひとり親困窮深刻
NPO、支援呼び掛け

北海道新聞 2021/2/4夕刊
（許諾D2206-2706-00023376）

フードロス問題への関心の高まりやコロナ禍での報道が増えたことに伴い、グッドごはんは2021年に様々なメディアに取り上げられました。

2021年に掲載いただいたメディア（一部・順不同）

時事通信社、北海道新聞、TBS（サンデージャポン）、フジテレビ（Live news イット!）、日本テレビ（news zero）、日本放送（薬師丸ひろ子ハート・デリバリー）、J:COM（つながるNews）、日本経済新聞、TOKYO854（くるめラ）、関西テレビ（報道ランナー）等

人道支援

2021年の人道支援

2021年の成果

グッドネーバーズは、助けが必要な場所には人種・宗教・思想・地域を超えてどこでも駆けつけ、
困難に直面した人々に最も必要なものやサービスを提供し、子どもたちと地域住民の生活と心を支えています。

緊急支援

18カ国
239,229人

洪水、火山噴火、寒波などの自然災害の被害を受けた地域に救援物資を支援しました。

難民支援

8カ国
77,773人

難民の安全な生活を支援し、経済活動と自立を支援するための技術教育を行いました。

防災・減災支援

15カ国
407,511人

スリランカ・フィリピン・ハイチなど災害のリスクが大きい国の防災支援を行いました。

復興支援

5カ国
16,940人

災害被災地の社会インフラを支援し生活の基盤を再建します。

グッドネーバーズ・ジャパンの海外人道支援

資材を運ぶ現地ボランティア

※当事業はジャパン・プラットフォームのハイチ地震被災者支援2021助成事業です。

【ハイチ 地震】

家屋の修繕資材で生活の立て直しの一助に

2021年8月14日、ハイチの南西部で発生したマグニチュード7.2の地震によって、13万棟以上の建物が倒壊し、国内総人口の40%に当たる約65万人が人道的支援を必要とする状況となりました。特に家を失った人々は、厳しい避難生活を強いられていました。
グッドネーバーズ・ジャパンは10月より、グッドネーバーズ・ハイチとの連携のもと、ハイチ共和国南県マニッシュ地域及びグランダンス県ペステル地域に、家屋を修繕するための資材を配付する事業を実施し、2022年3月中旬に879世帯への配付を完了しました。

私の住んでいた家は住み続けることが難しい被害だったため、地震後はシェルターに避難していました。私の家族はとても貧しく、地震ですべてのものを失いました。
今回配られた資材は質が良く、素晴らしい贈りものです。とても感謝しています。これらの資材を使って、家族と家で眠れるよう、家を直すつもりです。

家屋修繕資材を受け取ったモアケンソン・バーナードさん

5歳以下の子ども及び妊娠中・授乳中の女性に
栄養補助食品を追加提供

【エチオピア 内戦】

紛争避難民への食糧と医療の支援

エチオピア共和国北部のティグライ州で2020年11月、エチオピア中央政府とティグライ州暫定政権の武力抗争が勃発しました。これにより200万人を超える国内避難民が発生し、その中でも約35万人が、命の危険を伴う最悪レベルの飢餓状態にありました。これを受けてグッドネーバーズ・ジャパンでは2021年4月より、国内避難民が滞在する避難所に食糧、略奪被害を受けた医療施設に医薬品・医療物資を提供するプロジェクトを行っています。

＜フェーズ1＞2021年4月～10月
対象地域：ティグライ州/Mekele、Wukro（2地域）
支援内容と受益者：食糧支援1,550世帯、栄養支援500世帯、医療支援7施設

＜フェーズ2＞2021年10月～2022年4月
対象地域：アムハラ州/Debre Birhan、Efratana、Shewa Robit、Ataye（4地域）
支援内容と受益者：食糧支援1,250世帯、栄養支援620世帯、医療支援7施設

＜フェーズ3＞2022年4月～9月（予定）
対象地域：アムハラ州/South Wello（1地域）
支援内容と受益者：食糧支援860世帯、栄養支援630人、医療支援5施設

※本事業は、ジャパン・プラットフォームのエチオピア紛争被災者支援助成事業です。

バリアトリ ユニオンでの食糧配付の様子

【バングラデシュ サイクロン】

食糧と屋根の資材支援

2020年5月20日に大型サイクロン「アンファン」がバングラデシュ南西部に襲来し、特に沿岸部に甚大な被害をもたらしました。サイクロンにより被災した人の数は、約250万人にのぼります。
グッドネーバーズ・ジャパンは、被害が最も深刻な地域の一つであるパトゥアカリ県カラパラ郡の5つのユニオン（ミザガンジ、バリアトリ、ダルブガンジ、チャカモヤ、ラルア）において、緊急支援を実施しました。2021年1月から2月にかけて7,060世帯を対象に、米やイモ、食用油等の食糧支援を行い、サイクロンにより屋根が損壊した1,100世帯を対象に、家屋修繕支援として1世帯当たりトタン板14枚を配付しました。

※ユニオン：バングラデシュにおける地方行政単位。複数のユニオンで郡を構成する。

私は4人家族で、妻と私、2人の息子がいます。作物や果樹園、水田、私の家もサイクロン・アンファンの被害を受けました。この大変な時期にグッドネーバーズの支援によりたくさんの恩恵を受けました。このような支援を可能にしてくれた資金提供者にとても感謝しています。そして、こうした悲惨な状況が少しでも解消されることを願っています。

食糧支援を受け取ったジャキール・モロルさん

※本事業は、ジャパン・プラットフォームのバングラデシュ・サイクロンアンファン被災者支援助成事業です。

企業との連携

グッドネーバーズ・ジャパンは『子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会』を目指し、国内外で支援活動に励んでいます。しかしこのビジョンは、私達だけの力では実現できません。賛同し、力を貸してくださるパートナーの存在が不可欠です。とりわけ企業の力は、私たちの活動の様々な場面で必要とされています。
2021年も、企業の皆さまから、子どもスポンサーシップ、グッドごはんへの食品および資金提供、社員募金と企業のマッチング寄付、ボランティアへの協力、そして新型コロナウイルス緊急支援活動へのご協力など、様々な支援・協力をいただきました。その一部をご紹介します。

株式会社 ジーエーピー

運営するG-Callふるさと納税を通じ、ふるさと納税の返礼品であるお米をひとり親家庭のフードバンク「グッドごはん」へ寄付することができるようになりました。

福留開発 株式会社

工事現場に寄付型自動販売機を設置し、販売手数料をグッドネーバーズ・ジャパンに寄付してくださっています。社長・役員から社員まですべての人が支援に携わることができることに魅力を感じていらっしゃるそうです。

有限会社 ウチノ

無添加のお惣菜パックを販売されている「内野家」のサイトで、商品を「お客さまからグッドごはんへの寄付」として、毎月定期発送する寄付型定期購入プログラムを開始されました。安心安全で常温保存できるお惣菜はグッドごはん利用者に大変好評です。

株式会社 百笑 縁ファーム

「魚沼からひとり親家庭の子どもたちを笑顔にしたい!」という思いからクラウドファンディングを通じて寄付を呼び掛け、新米1万杯プロジェクトを実施してくださいました。そして美味しい新米を280世帯に届けることができました。

株式会社 山田養蜂場

自社製品の歯磨き粉と協賛パートナー企業の歯ブラシを、ベトナムのSon Duong地域の2,000人の子ども達にご寄贈いただきました。商品やサービスの寄付を“Gift in Kind”といいますが、衛生用品や国産の高品質な物品はとても喜ばれます。

石窯料理Tramonto

海外子どもスポンサーとして、「ひとりの成長を見守るコース」と「みんなの成長を見守るコース」のご支援をいただいています。石川県にある石窯料理屋さんで、店内にポスターを掲示いただくなど、広報活動にもご協力くださっています。

ご支援・ご協力をいただいた企業(一部　順不同敬称略)

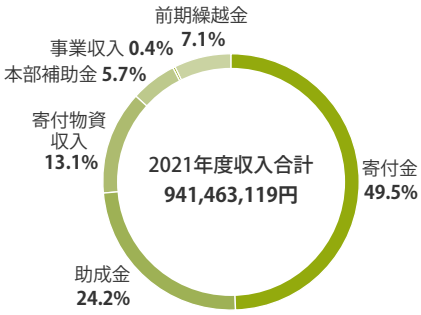
(一社)全国農業協同組合中央会(JA 全中)
セカンドハーベスト・ジャパン
生活協同組合おおさかパルコープ
CB グループマネジメント株式会社
株式会社オンデーズ
TMS-HAVI
ヤフー株式会社 Yahoo! ネット募金
株式会社ビームスホールディングス
株式会社資生堂
アコム株式会社
アトミジャパン合同会社
HAVI サプライチェーン・ソリューションズ・ジャパン合同会社
株式会社 さえ喜
J.P. モルガン
KDDI 株式会社
寄付ナビ合同会社
ユニカ食品株式会社
協同食品株式会社
シオノギ社会貢献支援会
阪和興業株式会社
松井酒造合名会社
一般社団法人 サスティナブルファッションプロモーション ジャパン
中日物産株式会社
吉田ピーナツ食品株式会社
株式会社 USTUS/BURGERS TOKYO
TM コミュニケーションサービス株式会社
レッドホースコーポレーション株式会社
クリフォードチャンス法律事務所外国法共同事業
ナチュラルラボ株式会社
タカラレーベン・インフラ投資法人
タカラアセットマネジメント株式会社
株式会社パソナグループ
株式会社カルナック西日本ブロック
株式会社東急ホテルズ
認定 NPO 法人ふーどばんく OSAKA
株式会社オーエイチ・アール

※2021年に30万円相当以上のご支援をいただいた法人を掲載しています

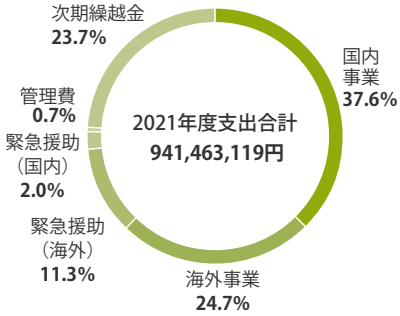
会計報告

2021年度収支計算書(2021年1月1日～12月31日)

A 経常収益		（単位：円）
受取寄附金		589,064,860
受取寄附金	465,976,137	
寄付物資収入	123,088,723	
受取助成金等		282,180,858
グッドネーバーズ本部補助金収入	54,077,750	
助成金収入	228,103,108	
事業収益		3,479,616
その他の収益		627
経常収益計		**874,725,961**



B 経常費用		
1 事業費		
困難な生活環境にある子ども達およびその家族のための支援事業	海外 国内	232,058,839 353,801,949
大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援事業	海外 国内	106,363,122 19,144,354
物品の販売事業		165,000
事業費計		**711,533,264**
2 管理費		6,930,531
経常費用計		**718,463,795**
当期経常増減額（A-B）・・・①		156,262,166



C 経常外収益(雑収入)		45

D 経常外費用		0

当期経常外増減額（C-D）・・・②		45
経理区分振替額　・・・③		0
税引前当期正味財産増減額　①+②+③・・・④		156,262,211
法人税、住民税及び事業税　・・・⑤		70,096
前期繰越金　・・・⑥		66,737,113
次期繰越金　④−⑤+⑥		222,929,228
収入合計 (A+C) ＋ **前期繰越金**		**941,463,119**
支出合計 (B+D)+⑤ ＋ **次期繰越金**		**941,463,119**

貸借対照表(2021年12月31日現在)

（単位：円）

A 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	151,713,981	
未収入金	64,955,914	
商品	2,203,993	
貯蔵品	449,718	
寄付物資	39,362,535	
仮払金	500,545	
支援等事業特定資産	218,188,438	
流動資産合計・・・①		**477,375,124**
2 固定資産		
退職引当特定資産	19,000,000	
敷金	3,510,000	
固定資産合計・・・②		**22,510,000**
A 資産合計 ①+②		**499,885,124**

B1 負債の部		
1 流動負債		
未払金	53,663,319	
預り金	2,340,211	
前受金	201,882,366	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計・・・③		**257,955,896**
2 固定負債		
退職給付引当金	19,000,000	
固定負債合計・・・④		**19,000,000**
負債合計 ③+④		**276,955,896**

B2 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	66,737,113	
当期正味財産増減額	156,192,115	
正味財産合計		**222,929,228**
B 負債及び正味財産合計 B1+B2		**499,885,124**

監査報告書

これは、JANICの「アカウンタビリティセルフチェック2021」マークです。JANICのアカウンタビリティ基準の4分野（組織運営・財務・人材育成・情報の保護と共有）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

役員

代表理事：　福井　玲（東京大学教授）
副代表理事：　韓　福相（大阪産業大学教授）
常務理事：　小泉　智（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）
理事：　松本　吉広（黒光商事株式会社代表取締役）
　崔　玟鎬（グッドネーバーズGPC事務局長）
監事：　姜　恩和（目白大学准教授）
法務顧問：　金子　憲康（弁護士）
財務顧問：　さくら会計事務所
労務顧問：　浅井　浩次（特定社会保険労務士）

VISION | 子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会

MISSION | 国内外のパートナーと共に、貧困および差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

認定NPO法人　グッドネーバーズ・ジャパン

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-60-1 ソメノビル7階

TEL：03-6423-1768 FAX：03-6423-1766 E-mail：admin@gnjp.org

HP : www.gnjp.org　Twitter : @GNJapan　Facebook : gnjapan　Instagram : gn_japan